

第 4 号 恵那南地区中学校あり方検討委員会だより

http://www.city.ena.lg.jp/shisei/administration/committee/enaminami_arikata/

平成26年11月15日発行
恵那市教育委員会 学校再編対策室

第5回あり方検討委員会 平成26年10月30日(木) 岩村振興事務所

◇議題

- ・開会のあいさつ
- ・統合すると仮定した場合の候補地について
- ・地域ごとでのワーキング
- ・意見発表
- ・その他

◇第5回の概要について

第4回まであり方検討委員会を進めてきましたが、今回は、統合すると仮定した場合の候補地について資料を提出し、課題となる通学やあり方検討委員会の今後の役割について地域ごとで話し合いを行いました。

最後に各地域での話し合いの内容を報告していただきましたが、「通学時間」を考慮した候補地の選定、「通学手段」の鉄道、自主運行バスの利用など課題についても話し合われました。

【説明会の開催結果について】

平成26年10月29日までに要望のあった地域において説明会を実施しました。説明会の意見や質問は裏面のとおりです。

(地区により参加対象者や意見が異なります。)

* 上矢作地区説明会

と き：H26/10/14 (火) 19:30～

ところ：上矢作コミュニティセンター

参加者：29人 (小・中学校、保育園 保護者)

* 明智地区説明会

と き：H26/10/20 (月) 19:30～

ところ：明智文化センター

参加者：52人 (地域住民)

* 岩村地区説明会

と き：H26/10/22 (水) 19:30～

ところ：岩村コミュニティセンター

参加者：44人 (小・中学校、保育園 保護者他)

* 山岡地区説明会

と き：H26/10/29 (水) 19:30～

ところ：山岡環境改善センター

参加者：38人 (地域住民)



【第5回あり方検討委員会の様子】

(第6回開催予定12月3日(水) 19:30～
岩村振興事務所 2階大会議室)

※ この「たより」は、あり方検討委員会の動きをみなさんに広くお知らせしていくものです。

◆質問

Q：通学について長い距離を歩かせたくないため、バスの本数や停留所などの対応は？

A：あらゆる交通手段を考慮し、通学時間がかからないようにしたいと考えています。

Q：保護者から出された意見や要望に対して、あり方検討委員会で議論して、回答していただくことは可能ですか？

A：可能ですが、統合という結論が出ていないので、仮の設定をしての回答となるかと思えます。

Q：子どもの数が減っていくことは十分わかりました。しかし地域の活性化を図るためには、子どもが居ないといけない。統合すればどんどん人が居なくなってしまう。明智には保育園から高校まで全部教育環境がそろっていて、子育てするには最高の環境であることをアピールすべきだと思う。子育てをする環境が整っていないと若者たちは定住しない。統合することが、本当にいいことなのか十分考えてほしい。検討委員会での提言は、今後の動きにどう反映されるのかを教えてください。

A：あり方検討委員会の意見を反映させていただいて、平成28年度からの第二次恵那市総合計画に、どのように入れていくかを考えています。

地域から学校がなくなると地域が寂れるという意見は皆さんから聞いています。地域の広がりや明智という単位でみるのか、恵那南地区でみるのか、新しい地域のまとまりをつくるということも考えていただきたい。

Q：すべてが子どもを動かすことを起点に考えているが、大人を動かすことを検討されたことはありますか。子どもを動かすのではなく、大人が動いて、どこまで補完できるかを考えるのが先ではないか。

A：すでに試みをしておりまして、通級指導教室では、明智小学校と山岡小学校で同じ担当教員が指導場所を替えて行っています。また、音楽・美術の技能教科の教員もどこに席を置いても巡回できる正規職員の運用システムを県教育委員会に要望しています。

Q：子どもたちの意見は聞かないのですか。

A：子どもたちは自校の現状しか知らない。意見を聞けば不安があるので現状が良いと思う。再編の問題は大人が考えていかなければいけないと思います。

Q：市は人口が減って統合することしか考えていないが、人口を増やす努力を何か行っているのか。

A：人口増加対策として、定住者に対する補助金制度や医療費の助成、企業誘致での雇用対策を行っています。

Q：資金が無いのに新校舎を造ることはおかしい。

現在の校舎も廃校となり無駄ではないか。

A：市の財源は大変厳しいです。教育委員会としては、教育環境の充実を考え、この学校再編について皆さんと考えて行きたいです。

Q：廃校となった場合の用途は何か考えていますか。

A：～未来につなごう～「みんなの廃校」プロジェクトで全国から募集して、廃校となる学校の有効活用を考えています。

Q：この統合も「こども園」のように進んでいるのですか。

A：今は何も決まっていません。今後、人口減少がわかっている中で、学校再編をどのようにするかを皆さんから意見を聞きながら進めていきます。

司会：何も知らなかったことの無いように、このような説明会を行っていますのでお願いします。

Q：恵那市は子ども支援に厳しい市と思う。保育園の指定管理、こども園、中学校の統合となり、次は小学校の統合になるのではないか。学校が廃校になれば環境にも問題が出る。住みやすいまちと聞いて岩村に来たけれど合併して何も良いことはない。

A：色々な考えや価値観があると思います。この学校再編については、単に財政的なことではなく、中学校のあり方をどう進めていくかを考えていただきたい。ただ、皆さん全員が賛成するということはありませんので、全体の総意の中で方向付けをしていきたいと思っています。

◆意見

○一般の住民の方々に徹底して情報を提供していただきたいと思っています。情報を共有して、皆一緒に考えていかなければいけないと思います。

○恵那南地区に中学校1校というのは乱暴ではないか。合併をしてから、明智の町はまとまりがなくなってきていると思う。明智に学校がなくなるということは、明智を愛していこうとする子どもが減ってくることになる。小人数の学校には、丁寧にみてもらえる良さがある。中学がひとつになれば、通学が生徒の負担にもなるし、部活が増えても実際にやれるかどうか時間の保証もない。

○どちらかというと統合には賛成です。地域が寂れるという課題はあるが、子どもは仮に他の地区の中学校へ行ったとしても帰りは必ず明智に戻ってくる。大勢で勉強したり、仲間をつくることに意義があり、中学校生活は二度とかえってこない3年間・男女の比率がどんどんひどくなってしまふ。貴重な3年間でそういうふうには暮らしていいのかわりに思う。大勢の人数で少ない人数を体験することはできるが、少ない人数だと限界がある。